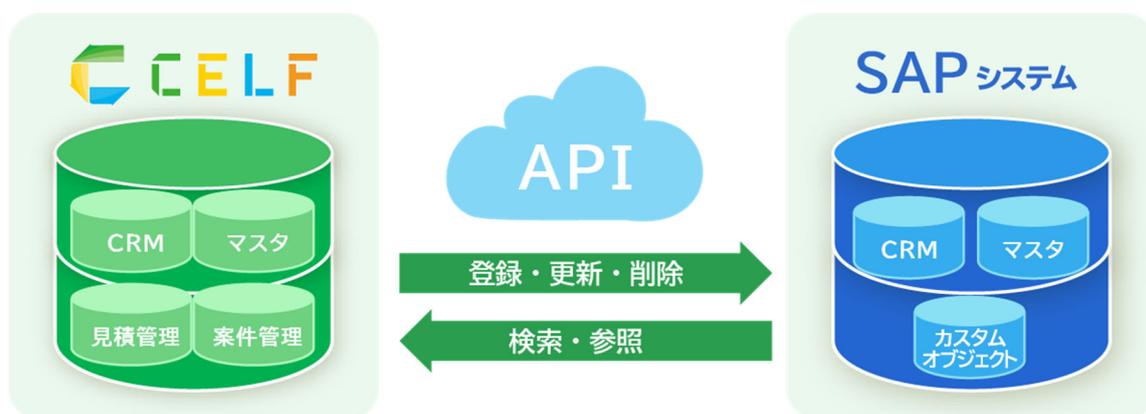


2026年3月12日
SCSK株式会社

ノーコード開発ツール「CELF」、**「SAP® ERP」との API 連携を開始** ～ERP 周辺業務の効率化を拡大し、標準ツールの地位確立を目指す～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、同社が提供するノーコード開発サービス「CELF(セルフ)」のオプションとして、SAP ジャパン株式会社が提供する世界シェアトップクラスの ERP ソリューション「SAP® ERP」との API 連携を実現する「SAP データ連携部品」の提供を開始します。これにより、財務会計、管理会計、購買在庫管理などの SAP システム周辺の Excel による集計・分析業務を効率化します。



1. 背景

近年の ERP 導入においては、標準機能に業務を合わせる「Fit to Standard」が主流となっています。しかし、グローバル標準の ERP は、経営管理において高い効果を発揮する一方、日本企業が求める細やかな業務要件や慣習までは十分にカバーしきれず、現場では独自の入力や帳票作成のために Excel が使用される場面があります。その結果、作業負荷の増大、属人化、データの分散といった課題が顕在化しています。

こうした課題に対し、SAP システムを拡張するための標準的な基盤である「SAP® Business Technology Platform (SAP® BTP)」^{※1}による開発に加え、特に「SAP® Cloud ERP」^{※2}を採用する中堅・成長企業では、現場担当者でも扱いやすく、短期間かつ低コストで業務を補完できる手段が、解決策の一つとなります。

「CELF」はこれまで、各種 ERP とのデータ連携を通じて、現場固有の業務要件(独自フォーマットの帳票作成や複雑な集計・分析業務など)に対応してきました。今回、新たに SAP システムとのデータ連携部品を追加することで、「Fit for Purpose(現場業務への適合)」と「ERP 標準機能の価値維持」を両立し、SAP Cloud ERP の導入効果を補完する柔軟なソリューションを提供します。

※1 SAP Business Technology Platform(SAP BTP): SAP 社が提供する、アプリケーション開発、データ分析、統合などを実現するクラウドプラットフォーム。ERP の機能を拡張する際の標準的な基盤として利用される。

※2 SAP Cloud ERP: SAP S/4HANA Cloud Public Edition を中核に構成されたクラウド ERP サービス。
本リリースでは主に中堅・成長企業向けの導入モデルを指す。

2. サービス概要と特長

Excelと同じ見た目・操作性で ERP データの登録・更新・参照が可能となり、導入時の学習コストを抑えながら、現場に負担をかけない運用を実現します。これにより、SAP システム周辺業務の効率化に加え、ERP データと周辺業務データを組み合わせた高度なデータ利活用が可能になります。

また、SAP システム標準では対応しきれない独自形式の帳票やレポートも、Excel のような感覚で柔軟に作成できます。SAP システムの管理画面を使うことなく、直感的に操作できる CELF アプリ画面から入力や更新が行えるため、現場主導での業務改善を支援します。



3. 本サービスの活用例

① SAP システム入力業務をフロントで補完し、現場作業を効率化

扱いやすい CELF 画面をフロントとして活用し、基幹システムへの入力を効率化します。

- ・ 購買依頼・経費申請：簡易画面で申請し、承認後に必要情報のみ SAP PR(会計伝票)へ自動登録
- ・ 見積・受注業務：SAP システム標準では対応が難しい「階層構造(親子・孫明細など)」を持つ複雑な見積書も、独自フォームで柔軟に作成。見積書を基に、受注後は金額・ステータス情報を SAP SD(販売管理)に自動登録し、二重入力を防止

② 独自レポート・帳票を柔軟に作成

SAP システム標準では対応しきれない独自形式のレポートや帳票を、CELF で柔軟に作成できます。

- ・ 予実管理表の作成：SAP システム実績と CELF で収集した予算・見込みを統合し、部門別フォーマットで即時出力
- ・ 独自帳票の作成：請求書・見積書、金融機関向けレポートなどを独自フォーマットで作成
- ・ 外部データとの結合：市場データ・営業見込みなどと組み合わせ、高度な分析資料を作成

③ SAP システムマスタ・伝票の一括メンテナンス

表計算形式の画面で、大量データの入力・更新作業を効率化します。

- ・ マスタデータ編集：品目・取引先マスタなどを表形式でまとめて変更・追加
- ・ 会計伝票の一括編集：月次・年次決算時の大量伝票の入力・修正を効率化

4. 価格

「SAP データ連携部品」のライセンス費用は無料

※CELF をご利用のユーザーであれば、本連携部品を追加費用なしで利用可能です。

(CELF の 1 ユーザーあたり月額利用料金:1,800 円(税別)^{※3}～)

※3 2026 年 1 月 1 日時点

5. 今後の展望

SCSKは今後も CRM/ERP 連携を強化し、CELF を ERP 周辺業務における標準ツールとして展開することで、企業全体のデータ利活用をさらに推進します。これにより、経営の見える化や意思決定の迅速化に貢献していきます。

CELF について

CELF は、SCSKが開発した表計算ソフトに似た操作性で業務アプリを作成、利用できるノーコード開発サービスで、国内外で約 1,200 社以上の企業に導入されており、販売・開発をサポートするパートナー企業も約 130 社以上に拡大しています。予算実績管理や見積・案件管理、マスタ管理など現場に密着した業務で高い効果を発揮します。また、他の業務パッケージとデータ連携を可能にする機能に加え、AI を活用した業務の高度化を実現する「CELF AI」機能を提供しています。さらに、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)機能(オプション)も提供しており、業務の自動化も実現できる点が特長です。

サービスHP:<https://www.celf.biz>

無料トライアル:<https://www.celf.biz/trial/>

SCSKグループ技術戦略

SCSKグループは、「共創 IT カンパニー」の実現に向けた取り組みを加速するため、技術戦略「技術ビジョン 2030」を推進しています。「技術ビジョン 2030」では、先進デジタル技術の最大活用による事業構造の変革(デジタルシフト)や生成 AI の活用による飛躍的な生産性向上の実現を目指すとともに、蓄積してきた知財を活用した製品・サービス開発を推し進め、お客様や社会、生活におけるさまざまな課題解決に対応していきます。

・SCSKグループ技術戦略「技術ビジョン 2030」

https://www.scsk.jp/sp/technology_strategy/index.html

SCSKグループのマテリアリティ

SCSKグループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」の実現に向けて、社会と共に持続的な成長を目指す「サステナビリティ経営」を推進しています。

社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会とともに成長するために、特に重要と捉え、優先的に取

り組む課題を7つのマテリアリティとして策定しています。

本取り組みは、「豊かな未来社会の創造」に資するものです。

－現場主導での業務改善を支援し、業務効率化に貢献

－API連携による高度なデータ利活用を推進し、経営の見える化や意思決定の迅速化に貢献

・SCSKグループ、経営理念の実践となる7つのマテリアリティを策定

<https://www.scsk.jp/corp/csr/materiarity/index.html>

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

IT インフラサービス事業グループ

クラウドサービス事業本部 CELF ビジネス推進部 岡本、武下

E-mail: celf_sales@scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 志村

TEL:03-5166-1150

※ SAP、SAPロゴ、記載されているすべてのSAP製品およびサービス名はドイツにあるSAP SEやその他世界各国における登録商標または商標です。

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。